

平成31年度佐賀県立神埼清明高等学校入学式 学校長式辞

平成31年4月10日（水）10:00～

本日、ここに平成三十一年度、佐賀県立神埼清明高等学校の入学式を挙げるにあたり、神埼清明会会長 松本軍二様、PTA副会長 大澤忠明様をはじめ、多数の御来賓並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、このように盛大に新入生の皆さんを祝福できますことは、私ども職員、並びに在校生にとりましても、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今入学を許可した160名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

これまでずっと、お子様を温かく支えて来られた保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます

本校は、大正2年に地元の地主立農産学校として開校され、農業の専門高校であった神埼農業高等学校から、平成8年に、本県初の総合学科の高校に改編し、同時に校名も神埼清明高校に改称され今日に至ります。今年で創立106年を迎える伝統ある学校であり、総合学科としても24年目を迎えます。

本校には、「はずむ生命 ひかる生命 ～君と生きるために～」という教育指針があります。教室棟と体育館を結ぶ渡り廊下の南側の横断幕に書かれています。

「はずむ」は、生徒の皆さんが持つエネルギー、「ひかる」は生徒の皆さんが持つ能力、そして「生命」は生徒の皆さん一人ひとりのことです

つまり、皆さん一人ひとりが持つ「エネルギー」や「能力」は、皆さんの周りにいる人と生きるために使うことで生かされる。そうした生徒を育てようという意味です。

例えば、みどり系列の生徒は、幼稚園児を学校に招いて交流をしています。大根や白菜の植え付けや収穫の仕方を園児に教えながら交流をしました。交流に参加した生徒の感想を紹介します。「子供たちの笑顔が増えていった。将来、子どもたちと接するときには生かしたい」

生活福祉系列の生徒は、地域の福祉センターを訪問し、高齢者との交流をしています。歌や体操、ゲーム、マッサージなど自分たちでプログラムを考え交流をしました。交流に参加した生徒の感想を紹介します。「自分たちで企画して、喜んでもらったことがうれしい。」

部活動では、神埼清明高校の新体操部は、全国高校総体で2年連続優勝している強豪校です。昨年、優勝したときの新聞記事に監督の先生のコメントが新聞に載っていました。「靴をきちんと並べるとか、あいさつをするとか、普段の生活で当たり前のことができるかどうかは必ず演技に出る」

このように、神埼清明高校には、教育指針のように、自分もつエネルギーや能力を発揮することで、周りの人を幸せにしてくれる生徒が多数います。

また、本校には、「目指す生徒像」があります。渡り廊下の北側の横断幕に書かれています。一つは、「より良き人生を送るために、学び、考え、挑戦する生徒です。」

最近、A I（人工知能）が注目されています。A Iの普及により、私たちの生活は便利になりますが、10～20年度には、現在ある仕事の半分以上がA Iに奪われてしまうという予測があります。このような時代に求められるのは、単に知識を増やしていくような「学び」ではなく、学んだことを自分の人生にどのように生かしていくかを考え、自分の目標を実現するために「挑戦」することです。

もう一つの目指す生徒像は、「より良き社会を創るために、自他を尊重し、協働する生徒」です。

金子みすずさんの「わたしと小鳥と鈴と」という詩を紹介します。

「わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、飛べる小鳥はわたしのように地べたをはやくは走れない」

「わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、あの鳴る鈴はわたしのように、たくさんうたは知らないよ」

「鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい」

金子さんは、自分は小鳥や鈴のようにできないが、自分は小鳥や鈴にはできないことができると言っています。「みんなちがって、みんないい」というのは、自分も他者も尊重しているということです。

新入生の皆さん、みなさんには一人一人違った個性があります。まず、自分のいいところを見つけてください。同じように周りの人のいいところを見つけてください。そして、個性が違う生徒同士で協力してより良き神埼清明高校の伝統をつくっていきましょう。

最後になりますが、この後、本校の運動部の生徒が神埼清明高校の校歌を歌います。この校歌は、加藤登紀子さんというプロのシンガーソングライターが作ったことで有名ですが、もう一つ大きな特徴があります。

それは、校歌にタイトルがあることです。県内の多くの高校の校歌は、〇〇高等学校校歌となっています。しかし、神埼清明高校の校歌は「今、時を刻む」というタイトルがあります。

このタイトルには、「生徒一人ひとりが、夢実現のために、限られた時間を大切に生きていこう」というメッセージが込められています。

新入生の皆さん、このメッセージを忘れずに、充実した高校生活を送ってくれることを期待し、学校長の式辞とします。

平成31年4月10日

佐賀県立神埼清明高等学校長 岩村 彰